

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 AKIBAホールディングス
 コード番号 6840 URL <https://www.akiba-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 正身
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英

TEL 03-3541-5068

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,031	13.3	469	3.6	475	1.1	258	56.8
2020年3月期第3四半期	8,855	10.9	486	228.6	480	221.5	598	935.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 276百万円 (55.9%) 2020年3月期第3四半期 625百万円 (859.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	281.76	
2020年3月期第3四半期	651.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	7,353	2,126	26.6	2,128.63
2020年3月期	6,958	1,850	24.4	1,847.52

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,955百万円 2020年3月期 1,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	7.4	650	1.2	650	2.1	330	49.6	359.27

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	919,256 株	2020年3月期	919,256 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	763 株	2020年3月期	724 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	918,515 株	2020年3月期3Q	918,630 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイト(<https://www.akiba-holdings.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、経済活動が大幅に制限された影響を受けて厳しい状況で推移いたしました。各種政策の効果により、一部持ち直しの動きは見られますが、国内外で新型コロナウイルス感染症の再拡大による景気後退が懸念されるなど、先行きは非常に不透明な状況となっております。

そのような状況において当社グループは、各事業セグメントにおいて新規案件の獲得、新規商材の検討、対面に頼らない営業手法の構築に努めるほか、新規事業として栃木県日光市鬼怒川温泉所在のペット同伴温泉旅館「鬼怒川絆」を2020年10月1日付で開業いたしました。また、新規事業領域への進出のため、M&Aの検討にも取り組み、2020年10月30日付で株式会社トランセンエンジニアリングの株式を取得いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、10,031百万円（前年同期比13.3%増）、売上総利益は1,552百万円（前年同期比5.8%増）となりました。販売費及び一般管理費は、1,083百万円（前年同期比10.6%増）となり、営業利益は469百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は475百万円（前年同期比1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は258百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業においては、新規顧客の開拓、取扱商品の見直しを図るとともに、IoTソリューション事業の拡大にも注力してまいりました。第1四半期に大きく伸びた在宅勤務・テレワーク需要のためのPC需要に伴うメモリモジュールやCPUの販売につきましては、第2四半期以降は安定的に推移しております。また、法人向けメモリ需要についても復調傾向が見られることと、IoTソリューション事業における新規案件の獲得が進むなど順調に推移していることから、全体としては売上、利益とも伸長しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,409百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益は215百万円（前年同期比57.2%増）となりました。

② 通信コンサルティング事業

通信コンサルティング事業においては、IoT/5Gマーケットに向けた新たな取り組み、外注先等との連携の強化による更なる工事体制の強化、WEB戦略の強化に努めてまいりました。また、2021年1月22日付発表のとおり、ポリマテリアル充填工法の開発にも注力しております。主力の通信建設工事事業においては、従来の屋内電波対策に加えてIoT向け通信ネットワーク基地局関連工事が大幅に増加するなど、拡大基調にあります。また、テレワーク需要・IoT/M2M需要により、MVNO回線契約数も大きく増加しております。コンタクトセンター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による案件の終了や規模の縮小もあり、また営業機会の減少などで、厳しい状況が続いております。コールセンターの開設やトランセンエンジニアリングの取得により一時的な費用により販管費が増えましたが、パディネットの事業拡大を受けて、前期に比べて事業会社が1社減っているものの前期比で増収となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,600百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は253百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

③ HPC事業

HPC事業においては、主要顧客である大学、企業が在宅となったことや学会、シンポジウムが中止となったことで対面営業が難しく、営業面では非常に厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言の解除後も営業の機会が限られてきましたが、第3四半期のみ売上高は前期並みまで伸長するなど、期末に向けて受注は増えつつあり、この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は957百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益73百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は7,029百万円となり、前連結会計年度末6,731百万円と比べ297百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、現金及び預金の増加693百万円、仕掛品の増加163百万円、受取手形及び売掛金の減少36百万円、商品及び製品の減少547百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は284百万円となり、前連結会計年度末226百万円と比べ58百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、建物の増加35百万円、のれんの増加18百万円であります。

(繰延資産)

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は39百万円であります。これは第1四半期連結会計期間より新たに新規事業に伴う費用を開業費として計上したことによります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は4,693百万円となり、前連結会計年度末4,582百万円と比べ110百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、買掛金の増加87百万円及び短期借入金の増加180百万円、未払法人税等の減少129百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は533百万円となり、前連結会計年度末524百万円と比べ8百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、資産除去債務の増加5百万円、退職給付に係る負債の増加5百万円、社債の減少8百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,126百万円となり、前連結会計年度末1,850百万円と比べ276百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加259百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日付の「2021年3月期通期連結業績予想に関するお知らせ」で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,584,941	3,278,135
受取手形及び売掛金	2,714,165	2,677,559
商品及び製品	1,240,793	693,224
仕掛品	11,974	175,010
原材料	75,917	78,549
その他	107,194	129,599
貸倒引当金	△3,111	△2,655
流動資産合計	6,731,875	7,029,423
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,449	92,489
減価償却累計額	△4,111	△9,314
建物(純額)	47,338	83,175
車両運搬具	6,324	10,080
減価償却累計額	△263	△2,640
車両運搬具(純額)	6,060	7,440
工具、器具及び備品	60,764	82,292
減価償却累計額	△36,079	△47,609
工具、器具及び備品(純額)	24,685	34,683
有形固定資産合計	78,084	125,299
無形固定資産		
のれん	—	18,972
ソフトウェア	6,478	8,589
無形固定資産合計	6,478	27,562
投資その他の資産		
長期未収入金	34,912	30,412
その他	141,940	127,974
貸倒引当金	△35,283	△26,583
投資その他の資産合計	141,569	131,804
固定資産合計	226,132	284,665
繰延資産		
開業費	—	39,213
繰延資産合計	—	39,213
資産合計	6,958,007	7,353,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,116,146	1,203,774
短期借入金	2,600,000	2,780,000
1年内返済予定の長期借入金	282,706	284,916
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
未払法人税等	200,916	71,876
賞与引当金	79,035	75,401
役員賞与引当金	32,500	—
関係会社事業損失引当金	—	1,265
その他	255,637	260,082
流動負債合計	4,582,941	4,693,315
固定負債		
長期借入金	412,201	412,892
社債	56,000	48,000
役員退職慰労引当金	—	7,290
退職給付に係る負債	30,931	35,964
資産除去債務	20,420	25,920
その他	4,771	3,110
固定負債合計	524,323	533,176
負債合計	5,107,264	5,226,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	471,824	471,824
利益剰余金	526,914	785,923
自己株式	△2,041	△2,235
株主資本合計	1,696,698	1,955,512
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	310	△376
その他の包括利益累計額合計	310	△376
非支配株主持分	153,733	171,674
純資産合計	1,850,742	2,126,810
負債純資産合計	6,958,007	7,353,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,855,417	10,031,345
売上原価	7,388,586	8,478,865
売上総利益	1,466,831	1,552,480
販売費及び一般管理費	979,968	1,083,369
営業利益	486,863	469,111
営業外収益		
受取利息及び配当金	187	161
為替差益	8,099	—
受取家賃	8,054	12,278
営業支援金収入	224	—
補助金収入	—	9,022
保険解約返戻金	34,546	—
雑収入	567	1,461
営業外収益合計	51,680	22,924
営業外費用		
支払利息	9,194	11,255
為替差損	—	4,401
支払手数料	7,216	602
役員退職慰労金	40,000	—
雑損失	1,422	546
営業外費用合計	57,832	16,805
経常利益	480,711	475,229
特別利益		
関係会社株式売却益	365,576	—
特別利益合計	365,576	—
税金等調整前四半期純利益	846,287	475,229
法人税、住民税及び事業税	210,715	178,033
法人税等調整額	10,827	20,451
法人税等合計	221,542	198,485
四半期純利益	624,744	276,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,080	17,940
親会社株主に帰属する四半期純利益	598,664	258,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	624,744	276,744
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	456	△686
その他の包括利益合計	456	△686
四半期包括利益	625,201	276,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	599,121	258,117
非支配株主に係る四半期包括利益	26,080	17,940

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブ ソリューション 事業	通信 コンサル ティング 事業	HPC事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	5,317,832	15,908	2,508,042	1,013,633	8,855,417	—	8,855,417
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	205	48,022	410	48,637	△48,637	—
計	5,317,832	16,113	2,556,065	1,014,043	8,904,055	△48,637	8,855,417
セグメント利益又は 損失(△)	137,045	△1,371	280,248	121,160	537,083	△50,220	486,863

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△50,220千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,233千円及びその他調整額139,012千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ウェブソリューション事業」につきましては、2019年7月1日より、同事業を単独で営んでおりました株式会社エッジクルーの全事業を株式会社バディネットに事業移管を行いました。その結果、前第2四半期連結会計期間以降は、「ウェブソリューション事業」は「通信コンサルティング事業」に統合されますが、前第1四半期連結会計期間までは存続していたため、当該期間までの実績を報告セグメント上「ウェブソリューション事業」に記載しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	通信 コンサル ディング 事業	HPC事業	小計			
売上高							
外部顧客へ売上高	6,409,914	2,581,771	957,515	9,949,201	82,144	—	10,031,345
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	19,006	—	19,006	—	△19,006	—
計	6,409,914	2,600,777	957,515	9,968,207	82,144	△19,006	10,031,345
セグメント利益	215,486	253,816	73,727	543,030	15,755	△89,675	469,111

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△89,675千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△214,823千円及びその他調整額125,148千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。